

扱い月	扱い時数		題材名等	題材の目標等	学習のねらい	教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり	学習指導要領の内容との関連(例)												教育基本法との対照 /他教科等との関連		
	年間計 50	随時					A 表現						B 鑑賞		〔共通事項〕(1)に関する事項						
							歌唱			器楽			音楽づくり		鑑賞(1)		ア			イ	
							ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア		イ	ア
4	随時	[巻頭教材]	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。		夢色シンフォニー	○	○	○											(旋律/音色)		創造性を培う/公共の精神
	毎時	[スキルアップ]	(1) 曲想とフレーズや強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能や、拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色、フレーズ、音楽の縦と横との関係、リズムや強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 強弱を意識して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱や手拍子によるリズムアンサンブルに親しむ。	(歌声とリズムのトレーニング)	花のおくりもの クラブ フレンズ	○	○	○										(旋律/音色/強弱/音の重なり)	ピアノ/メゾ・ピアノ/メゾ・フォルテ/フォルテ/アクセント/速度記号	創造性を培う/公共の精神	
5	2	〈にっぽんのうた みんなのうた〉	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。		◆こいのぼり	○	○	○										(旋律/リズム)		伝統と文化の尊重	
	4	和音や低音のはたらき	(1) 曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	低音のはたらきを感じ取って演そうしよう 和音のはたらきを感じ取ろう 和音や低音のはたらきを感じ取って演そうしよう	茶色的小びん (和音のひびきに合わせてポーズをしてみよう) こきょうの人々	○	○	○	○	○								音の重なり/音階/調/和音のひびき	音の重なり/音階/調/和音のひびき へ音記号/1番かっこ・2番かっこ/ハ長調の主な和音/ハ長調の音階	創造性を培う	

扱い月	扱い時数		題材名等	題材の目標等	学習のねらい	教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり	学習指導要領の内容との関連(例)												教育基本法との対照 /他教科等との関連		
	年間計 50	50					A 表現						B 鑑賞		〔共通事項〕(1)に関する事項						
							歌唱			器楽			音楽づくり		鑑賞(1)		ア			イ	
							ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア		イ	
	1	〈にっぽんのうた みんなのうた〉	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、強弱などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の歌曲に親しむ。		赤とんぼ	○	○	○											(旋律/強弱)		伝統と文化の尊重
10	6	音楽の旅	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりする。 (3) 我が国や諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	わたしたちの国に伝わる歌や声の表現を楽しもう せんだりの感じを生かして民ようを歌おう 世界のいろいろな声の表現や楽器のひびきを楽しもう	◆子もり歌 ◎会津磐梯山/音戸の舟歌 こきりこ節 谷茶前 ◎世界の声の音楽/世界の楽器のひびき	○	○	○										○	○	旋律/音色/拍/音の重なり 拍/音の重なりフラット	伝統と文化の尊重/他国の尊重
11																					
12	4	豊かな表現を求めて	(1) 曲想と拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音に合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、フォルクローレの音楽に親しむ。	拍の流れの流れて歌うように演そうしよう 拍の流れの流れて表情豊かに歌おう	風とケーナのロマンス ◆冬げしき	○	○	○	○	○									拍/フレーズ/縦と横との関係/旋律/リズム	拍/フレーズ/縦と横との関係/旋律/リズム	創造性を培う
	2	〈音のスケッチ〉	(1) 多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつたりする。 (3) 詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽に対する感性を育む。	いろいろな声で音楽をつくろう	☆いろいろな声で音楽をつくろう							○	○	○					音色/音の重なり/強弱	音色/音の重なり/強弱	創造性を培う/国語科との関連

扱い月	扱い時数 年間計 50	題材名等	題材の目標等	学習のねらい	教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり	学習指導要領の内容との関連(例)										教育基本法との対照 /他教科等との関連								
						A 表現						B 鑑賞		〔共通事項〕(1)に関する事項										
						歌唱			器楽			音楽づくり					鑑賞(1)							
						ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ				ア	イ						
随時	随時	[しの笛のみりょく]	(1)篠笛の音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、音色や響きに気を付けて、篠笛を演奏する技能を身に付ける。 (2)篠笛の音色や奏法の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりする。 (3)篠笛の音色や特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、我が国の楽器やその音楽に親しむ。		◎長唄「越後獅子」から ほか 「かりかりわたれ」から																(音色/旋律)		創造性を培う/幅広い知識と教養	
		[音楽ランド]	(各題材の発展や補充、行事や他教科との関連)		Auld Lang Syne/ゆき/大切なもの/こげよマイケル/グッバイ また明日ね ゴジラ	○	○	○																創造性を培う/公共の精神 外国語との関連
				(全校合唱)	音楽のおくりもの/さんぽ	○	○	○	○	○	○													
			<にっぽんのうた みんなのうた>		山田耕筰・中田喜直のうた ベチカ/待ちぼうけ/星とたんぼぼ/ちいさい秋みつけた	○	○	○																伝統と文化の尊重
	2				校歌・君が代	○	○	○															公共の精神	